

## 第 56 回日本糖尿病学会 ポスター発表 -P-210

【目的】日本人 2 型糖尿病患者におけるシタグリプチンの有効性および安全性を検討

【方法】名古屋市内 248 施設に受診中の HbA1c6.9 以上 10.5%未満の 2 型糖尿病患者にシタグリプチンを投与し, HbA1c, 空腹時血糖, 脂質, 血圧等について検討した. 登録された 1052 症例のうち, 3 カ月以上投与されデータを回収できた 515 例を対象に検討を行った.

【結果】患者は平均年齢  $65.4 \pm 10.8$  歳, 平均罹病期間  $7.64 \pm 6.71$  年. 全体の 53%はシタグリプチン単独投与であった. HbA1c は 3 カ月後には 7.9% 7.2%へ有意に改善した. 体重, 脂質, 血圧も有意に改善した. 年齢, BMI, 罹病期間, 併用薬別の解析では, 各階層間で効果・安全性で大きな差はなかった. 今回の解析対象では, 因果関係ありと報告された有害事象は便秘 3 件, 掻痒 1 件, 低血糖症 1 件であった.

【考察】シタグリプチンは幅広い患者で安全に血糖コントロール改善が出来ることが示された.